

## 審議会会議録

1	会議の名称	平成30年度第1回富津市子ども・子育て会議
2	開催日時	平成30年6月29日（金） 午前9時30分～午前10時50分
3	開催場所	富津市役所504会議室
4	審議等事項	(1) 会長の選出について (2) 子ども・子育て支援事業計画平成29年度実施報告について (3) 子ども・子育て支援事業計画第Ⅱ期の策定について (4) 今年度の会議スケジュールについて
5	出席者名	○出席委員 三木照恵、島野敦子、渡邊彩佳、石井愛子、梅原 淳、岩濱真也、白石喜好、諏訪智子、榎本信弘、君塚善恵、江澤 恵、オノミチ三由紀、畠山智宏、平野英男、河野信成 ○事務局 高橋市長、島津健康福祉部長、木村子育て支援課長、中山子育て支援課長補佐、小柴保育係長、川名社会福祉主事、圓川健康づくり課主査、川崎学校教育課指導主事
6	公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	0人（定員5人）
9	所管課	健康福祉部子育て支援課子ども家庭係 電話 0439-80-1256
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

平成 30 年度第 1 回富津市子ども・子育て会議 会議録

発言者	発言内容
事務局：中山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の確認</li> <li>資料 1：富津市子ども・子育て支援事業計画平成 27・28・29 年度実績</li> <li>資料 2：富津市子ども・子育て支援事業計画 第Ⅱ期 策定方針</li> <li>資料 3：富津市子ども・子育て会議平成 30 年度スケジュール(案)</li> <li>冊子「富津市子ども・子育て支援事業計画第Ⅰ期」</li>   <li>・会議の成立</li> <li>本日、15 名委員全員が出席しており過半数を超え、子ども・子育て会議設置条例第 6 条第 2 項の規定により、会議は成立する旨報告。</li>   <li>・会議の公開</li> <li>この会議は、富津市情報公開条例第 23 条の規定により公開 傍聴人は 0 名</li>   <li>1 開会</li>   <li>2 市長挨拶</li> </ul>
高橋市長	<p>委員の皆様には大変お忙しいところ、本日の富津市子ども・子育て会議にお集まり賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>また、皆様方におかれましては、子ども・子育て施策はもちろんです、富津市市政全般にわたり、ご理解とご協力をいただいていることを重ねて御礼申し上げます。</p>

げる次第です。

本日は新年度ということで新たな委員を 5 名の方にお願ひさせていただきました。快くお引き受けいただいたことを感謝申し上げます。

富津市の現状は既に肌で感じられているとおり、人口減少、特に少子化が著しい状況にあります。私自身も市長として市政をお預かりする中で、やはり最も力を入れていかなければいけないのが少子化対策であるということから、この子ども・子育て会議の皆様方から頂く、ご意見は市政に反映する中で大変参考にさせていただいています。

私自身の考えとして、子育て施策はあまり思い込みで進めるものではないと思っています。年々状況が変わる中で、お母さん方の考えることもいろいろと変化があると思います。そういう意味では長く職場に携わる皆さんと、まさに子育て真っ只中の皆さんが、本日ここに集まっていたいただいている子ども・子育て会議委員の皆さんであります。

これから任期の間、回数を重ねる会議となりますが、忌憚のない意見をどんどん出していただければありがたいと思っています。

今年度は、平成 27 年 3 月に策定した「富津市子ども・子育て支援事業計画」の次期計画策定に向けた準備が始まります。このあと事務局からご説明申しあげますが、本市の子育てをめぐる環境がより充実したものとなるよう、委員の皆様活発な意見を頂戴できれば幸いです。

#### 4 委員及び職員紹介

名簿に沿って 委員紹介、引き続き事務局職員紹介

事務局：木村課長

<p>事務局：中山</p>	<p>・議長について</p> <p>本会議設置条例第6条の規定で「会議は会長が招集し、その議長となる」とあります。前回まで会長であった渡辺務委員が辞職し、新たに議会推薦として平野英男委員にお引き受けいただいた。会長職は空席であるので、本日選出をお願いしたい。</p> <p>会長が選出をされるまでの間、オノミチ副会長に議長として議事進行をお願いする。</p>
<p>議長：オノミチ副会長</p>	<p>会長が選出されるまでの間、議長を務めさせていただきます。</p>
<p>議長：オノミチ副会長</p>	<p>4 会長の選出について</p> <p>会長の選出について、を議題とします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
<p>事務局：木村課長</p>	<p>「富津市子ども・子育て会議設置条例」第5条第1項に「会議に会長及び副会長を置き、それぞれの委員の互選によりこれを定める。」と規定されています。職務は同条第2項で「会長は、会務を総理し、会議を代表する。」と規定されています。互選の方法としては、投票又は指名推薦の方法があります。</p>
<p>議長：オノミチ副会長</p>	<p>互選の方法としては、投票と指名推薦があるようですが、どちらの方法で選出しましょうか。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>指名推薦の方法がよいと思います。</p>
<p>議長：オノミチ副会長</p>	<p>指名推薦とのご意見がありましたが、指名推薦の方法でよろしいですか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>議長：オノミチ副会長</p>	<p>ご異議ないと認め、会長の選出方法は、指名推薦とします。</p> <p>どなたか会長の推薦をお願いします。</p>

三木委員	<p>平野英男委員がよろしいと思います。平野委員は議会の教育福祉常任委員会の委員長を務められ、識見が豊かで適任だと思います。</p>
議長：オノミチ 副会長	<p>三木委員から会長に平野英男委員との推薦がありましたが、他にどなたか推薦される方はいらっしゃいますか。</p>
各委員	<p>他に推薦される方はいないようなので、推薦のあった平野英男委員に会長をお願いすることにご異議ありませんか。</p>
議長：オノミチ 副会長	<p>異議なし。</p> <p>ご異議ないと認め、会長は平野英男委員にお願いします。</p>
事務局：中山	<p>会長が選出されましたので、これで議長の任を解かせていただきます。</p>
平野会長	<p>会長席への異動と就任の挨拶をお願いし、後の議事進行をお願いします。</p>
	<p>会長職を務めさせていただくに当たり、一言挨拶申し上げます。</p> <p>会議のなかでは富津市における子育て現状と課題を抽出して、明日の富津市を担う子供たちが元気に成長できるように、また、子育て世代の親御さんたちが安心して家庭生活を送れるよう、その道筋を作っていくことが我々の役割だと思っています。</p> <p>別の視点から申し上げれば、子育て環境の改善なくしては、出生率の向上、定住・移住促進も望めないと考えています。今現在の高齢者に比重が偏っているいびつな人口構造を改善するためにも、また子育て世代の親御さんたちが、これからも富津市に住み続けたと言ってもらうためには、より一層の子育て環境の充実が必要だと思っています。</p>

平野会長	<p>そのためには皆様方のお力、お知恵が必要となります。今後、ご指導いただきながら活発な議論を進めていきたいと思っています。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>5 会議録署名人の指名</p> <p>私のほか、江澤委員にお願いします。</p>
平野会長	<p>6 議題</p> <p>&lt; (1) 子ども・子育て支援事業計画の平成 29 年度実施報告について &gt;</p> <p>(1) 子ども・子育て支援事業計画の平成 29 年度実施報告について、事務局の説明を求めます。</p> <p>《資料 1 を基に説明》</p>
事務局：木村課長	<p>富津市子ども・子育て支援事業計画第 I 期は、平成 24 年度に子ども・子育て支援法が制定され、子ども・子育て支援給付に係る教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保を図るため、市町村は市町村子ども・子育て支援事業計画を定めることとされたことに伴い、平成 27 年 3 月に策定しました。以降は本計画に基づいて本市の子育て支援施策を進めているところです。</p> <p>なお、平成 26 年度に全国的に子ども・子育て支援事業計画が策定された際に、内閣府から計画期間内の中間年において、見直しを行うよう求められたことから、地域の実情に即した見直しを昨年度において子ども・子育て会議に諮ってご承認いただきました。見直しの内容は大きな変更はなく、軽微なものでした。</p> <p>計画書 26・27 ページの (4) 教育・保育提供区域別の幼児期の学校教育の量の見込みと確保方策の平成 29</p>

年度の地区別の実績を説明します。

各地区、1号認定から3号認定まで、実績値③が確保方策②を上回っています。市全体として、1号、2号で大きく上回っていることから供給過多の傾向となっています。富津地区・大佐和地区で、3号認定の1、2歳の保育需要が年々高くなっており、今年度は既に私立保育園において定員超過となっている園もある状況です。近年の保育士不足は本市においても一層深刻化しており、定員まで受け入れできない保育園もあることから、今後保育ニーズに対して定員は見込み量を上回っているが、実際にはニーズを満たすことができない状況になっていくことが懸念されます。

続いて、計画書28ページからの地域子ども・子育て支援事業の実績について、事業ごとに主な点を説明します。

(1) 利用者支援事業 平成29年度事業実施なし

(2) 地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター) 富津地区は、平成29年度実績値が平成28年度と比較し大幅に減少している。職員確保ができず、事業規模を大幅に縮小し、国庫補助事業の基準を満たさなくなったことから、確保方策も1か所から0か所となりました。

大佐和地区は和光保育園のもうひとつのお家での実施、天羽地区は常設のセンターが未開設でありました。

(3) 妊婦健診、(4) 乳児家庭全戸訪問事業、(5) 養育支援訪問事業は、ほぼ例年通りの実績

(6) 子育て短期支援事業の実施はありませんでしたが、今後は虐待対応、養育支援の観点から、確保方策を検討していきたいと考えています。

(7) 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポー

ト・センター事業) 順調に事業の促進、拡大が図られています。今年度から新たに会員登録した方に利用料の一部助成を開始しました。6月12日現在12人の新規登録をいただいています。

(8) 一時預かり事業 幼稚園での預かり保育では、富津・大佐和地区において、実績値が確保方策を大きく上回っていますが、既に入園している児童の利用なので対応はできています。保育所(園)の一時預かりは、3地区共に確保方策が実績値を上回り、ニーズに対応できていますが、保育所の行事等の都合により保護者の利用希望に応えられないところもあります。

(9) 延長保育事業 富津地区では実績値が確保方策を上回っており、依然としてニーズが高い状況です。大佐和地区では、実績値は確保方策を下回っていますが、過去と比較すると大幅に実績値が上昇しており、今後のニーズの高まりが予想されます。

(10) 病後児保育事業 富津保育園1か所での事業実施。富津地区のみでの実施のため、サービス提供区域に偏りがあり、大佐和・天羽地区での利用環境整備の準備を進めています。

(11) 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ) 富津・大佐和地区では、確保方策が実績値を上回っていることからニーズ対応はできていますが、富津地区では定員に達しているクラブもあり、年々ニーズが高まっています。天羽地区では、今年度から社会福祉法人金谷温清会が天神山小学校の空き教室を活用し、開設しました。既に20数人が入所しています。

(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業 実施は無いが、市長の方針により、子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、第三子以降の保育料完全無料化を

<p>白石委員</p> <p>事務局：木村課長</p> <p>河野委員</p> <p>白石委員</p> <p>河野委員</p> <p>三木委員</p>	<p>平成 29 年度から実施しています。</p> <p>( 1 3 ) 多様な主体が本制度に参入することと促進するための事業 実施なし</p> <p>計画書 38 ページから 40 ページについては資料 10 ページから 11 ページに記載のとおり。</p> <p>続いて、計画書 41 ページからの第 5 章子ども・子育ての施策について、これは平成 22 年度から 26 年度を計画期間とした次世代育成支援行動計画の主要施策を一体のものとして策定したものです。</p> <p>施策の体系は、子どもの成長の段階ごとに 4 つに分類しています。施策は計画書の 42 ページから 53 ページに、平成 29 年度の実績は資料 12～17 ページに掲載しています。</p> <p>○意見、質疑</p> <p>スクールカウンセラーについて確認したい。カウンセリングを保健室で行っている学校もあるのか。</p> <p>河野委員は所管する教育センター所長なので、河野委員にお願いしたい。</p> <p>学校によって、カウンセリングの部屋を確保できていない場合、保健室を使用することもある。</p> <p>保健室を利用する生徒もいることから、配慮をして欲しい。</p> <p>承知した。</p> <p>会議出席にあたり、昨日「もうひとつのお家」利用者の声を聞いた。</p> <p>ピッコロ学級の復活を望む声が多かった。ピッコロ学級の内容も役に立つし、子連れでの外出が難しい中で助かった。中央公民館の実施が難しいのであれば、市役所でやってみようか。</p>
---	---

事務局：木村課長	<p>健診時に救命講習などやってはどうか。健診の内容もマンネリ化していて、2人目、3人目となるといいかなと思ってしまう。内容を今にあったものにしてはどうか。</p> <p>佐貫保育所で実施した「歯」の講座はよかった。母親への教育は早い段階からがいいので、健診の内容を検討してほしい。</p> <p>ピッコロ学級は申込者が少なくなり、実施しなかったが、ニーズがあるならば、頂いた意見を参考に子育て支援センターのような場においてこうした講座等の実施を検討に含めたい。健診は健診の決められた検査項目がある。その後となると時間も要するので、別に計画、開催を検討したい。</p>
平野会長	<p>&lt; (2) 富津市子ども・子育て支援事業計画第Ⅱ期の策定について &gt;</p> <p>(2) 富津市子ども・子育て支援事業計画第Ⅱ期の策定について、事務局の説明を求めます。</p>
事務局：木村会長	<p>《資料2を基に説明》</p> <p>富津市子ども・子育て支援事業計画第Ⅰ期が終了することから、次期計画の策定方針を定めたもの。</p> <p>2つの異なる法律に基づく計画を一体のものとして策定する。</p> <p>現状では国から詳細が示されていないので、第Ⅰ期計画と同じ事項を、現在のニーズに合わせ策定することになる。</p> <p>子ども・子育て会議のほか、市議会への都度報告し、意見を伺う。パブリック・コメントも実施する。</p> <p>ニーズ調査の受託業者を公募型プロポーザルで決定する。6月5日を期限に募集し、県内1者、県外2者</p>

<p>平野会長</p> <p>事務局：木村課長</p>	<p>の計3者の応募があった。7月4日にプレゼンテーションを実施し、7月中に決定の予定。</p> <p>○意見、質疑 なし</p> <p>&lt; (3) 今年度の会議スケジュールについて &gt; (3) 今年度の会議スケジュールについて、事務局の説明を求めます。</p> <p>《資料3を基に説明》</p>
<p>渡辺委員</p> <p>事務局：木村課長</p>	<p>○意見、質疑 ニーズ調査はアンケートで実施するのか。 アンケート用紙を未就学児のいる家庭には郵送で、就学児のいる家庭には学校を通して配付・回収の予定。</p>
<p>渡辺委員</p> <p>事務局：木村課長</p>	<p>各家庭か。 未就学児家庭1,000世帯、就学児家庭1,000世帯を無作為抽出で予定。</p>
<p>渡辺委員</p> <p>事務局：木村課長</p>	<p>子育て支援にニーズを感じているのは家で育児をしている人だと思う。私自身がそうだ。0歳児の育児はハードルが高い。孤独感を感じることが多い。品川から転入してきて、周りに頼れる人がいない状況で育児している。夫は日中仕事でいない。誰に頼ればいだろうと思うと、訪問してきてくれる保健師程度でそれ以外はいない。 0歳児を育児している世帯の孤独感を汲み取って欲しい。</p>
<p>事務局：木村課長</p>	<p>こうした意見をたくさんいただいて今後どのような施策を検討したらよいか、参考になる意見です。 市長からも「子育てを孤育てにしない」という方針</p>

<p>渡辺委員 事務局：木村課長</p>	<p>で、施策充実の指示を受けています。</p> <p>ニーズ調査の対象も、0歳児のお子さんがいるお母さんの意見を汲み取って欲しいという意見でしょうか。</p> <p>その通り。</p> <p>今のところ、抽出によって実施の予定であるが、委員の皆さんの意見でそうではないということであれば、再度検討するので、この場で意見を頂戴したい。</p>
<p>平野会長</p>	<p>現状、無作為抽出2,000だが、調査の仕方、アンケートの内容について意見を出してもらえれば、尊重して実施されると理解していただきたい。</p>
<p>平野会長 事務局：中山</p>	<p>&lt; (4) その他 &gt;</p> <p>その他、事務局からなにかありますか。</p> <p>次回第2回会議を9月中旬頃に予定し調整しています。改めて案内は通知します。</p>
<p>事務局：木村課長</p>	<p>アンケート項目について、意見を頂戴する予定であるため、できる限り早く会議資料として素案を送付します。事前に素案を見ていただき、会議当日にご意見をいただきたいと考えています。</p>
<p>平野会長</p>	<p>会議日程はすべて終了しました。以上で閉会とします。</p> <p>午前10時50分 閉会</p>